



52

すながわ こうえん 砂川公園

岡山県総社市黒尾831-1

総社市は、岡山県の南部に位置し、市の中央部には高梁川が貫流している。本市は、北部は吉備高原に続く山々に囲まれ、南部は高梁川兩岸に平野がひろがる。大古から吉備文化と呼ばれる香り高い生活が営まれており、それらの歴史を物語る数々の遺産が現在も残されている街である。〔文化・観光〕豪溪、宝福寺、国分寺と周辺、鬼ノ城・岩屋

岡山県総社市を流れる砂川の流域は、風化花崗岩地帯で、昔から土砂流出による災害が多発していた。このため昭和初期から砂防施設が整備されてきたが、近年周辺の宅地化がすすみ、住民の憩いの場として、またハイキングコースの入口としての整備が強く望まれるようになり、環境整備事業を実施することとした。周辺の赤松林などの恵まれた自然環境をいかに、流路には自然石を使用し、また流路内に遊び場を設け、高水敷は芝で覆い、キャンプ場として自然とのふれあいの場を提供するようにした。

完成後は、地元の子供たちをはじめ、市民のコミュニケーションの場として、また県内外の学校、団体などにもひろく利用されている。

